

## 令和7年度 県立土浦特別支援学校 自己評価表

No. 1

目指す学校像	◆児童生徒が生き生きと学びあえる学校 ◆健康で安全安心に生活できるきれいで整った学校		◆家庭や地域に信頼され、地域と共に歩む学校 ◆児童生徒、保護者、教職員が自信と誇りをもてる学校	
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標		達成状況
〈成果〉 ・児童生徒が主体的に動く学習活動の増加 （小学部）お助け隊、つちリンピック、（中学部）校外奉仕活動、（中高合同）スポーツフェスタ、（高等部）自動販売機設置、タイピング講師の招聘 ・地域とのつながり（つちうらでまなぼあそぼへの参加、市内高校とのクリーンナップ活動参加、路線バスの臨時便の運行） ・新しい領域での社会人非常勤講師の活用（ズンバ、パソコン、堆肥つくりと木工） ・作業学習、校内実習等の改善 ・区域変更に伴う対応 〈課題〉 ・地域との連携強化 ・学習活動のさらなる展開、広がり ・日々の授業と校外での活動の連動	個々の教育的ニーズに応じた魅力ある授業	① 適切な実態把握に基づく、主体的・対話的で深い学びのある授業づくりの推進 ② ICT教育の推進と職員研修の充実 ③ 学習評価の3観点に基づく「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の作成・活用と、保護者との共通理解及び教育活動の充実 ④ 外部専門家の有効活用による障害の重度重複化、多様化への対応と専門性の向上	B	
	自立と社会参加を目指すキャリア教育の推進	⑤ 体験的学習の工夫及び人や社会とつながる授業の充実 ⑥ ワークキャリア（働く）とライフキャリア（暮らす・楽しむ）の両視点からのキャリア教育の推進 ⑦ 思いやりや豊かな心の育成を図る学級経営と児童生徒会活動の充実 ⑧ 生涯スポーツや文化・芸術活動への取り組み	B	
	安全安心な学校づくりとリスクマネジメントの強化	⑨ 人権の尊重といじめや体罰のない学校づくり ⑩ 防災安全教育、感染症対策、健康教育の推進と安全安心な登下校の体制整備 ⑪ 諸問題の未然防止策の徹底（チェック体制の強化、事例分析や情報共有及び各種マニュアルの改善等） ⑫ 専門家や保護者と連携した、安全安心な給食と食育の推進	B	
	地域に開かれた教育活動とセンター的機能の充実	⑬ 地域資源の活用による活動の充実 ⑭ 教育活動等の情報発信（保護者、地域、幼保小中高等） ⑮ 地域の特別支援教育体制の強化とセンター的機能の向上 ⑯ 専門家や関係機関との連携を密にした校内支援体制の充実	B	
	信頼される学校づくりと働き方改革の推進	⑰ サービス規律の確保とコンプライアンス意識の向上を図る研修の充実と推進 ⑱ 明るくきれいで、風通しの良い学校を目指す取組 ⑲ PTA活動の充実、と効率化、保護者との連携推進 ⑳ 業務の改善と効率化の推進、勤務時間の適正管理	C	

評価項目	具体的目標	具体的方策	重点目標との関連	評価	成果(○)、課題(●)及び次年度(学期)への改善策(◇)
学校経営・管理 ・教育計画	自分たちで考え、新たな活動展開を実践する教師集団の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題意識を惹起させるためのつぶやき</li> <li>新たなアイデアを実現するための指導、助言</li> <li>結果でなく課程を評価することによる意欲の向上</li> </ul>	1－① 1－③ 3－⑪ 4－⑮	B	○就労支援充実事業を通して、主体的な活動を促す学習活動、授業改善の基盤が構築できた。 ◇教師の大胆な発想を実現する。
教職員の育成及び指導・監督	個々の教職ステージに応じたスキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>適材適所での教職員の活躍の場の提供、指導助言</li> <li>計画訪問及び各種指定事業を軸とした学校運営</li> <li>児童生徒の主体的な活動を促進するための授業改善への指導助言</li> </ul>	1－① 1－④ 2－⑥ 2－⑦	B	○校内から優秀教職員、社会体験研修・内留派遣者を出すことができた。 ●授業改善意識の向上を図る。
対外活動	土浦市の資源を活用した学習活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会を中心とした学校運営</li> <li>土浦市との連携、土浦市内の施設等の活用</li> <li>イオンモール土浦との連携強化</li> </ul>	2－⑤ 2－⑧ 4－⑬ 5－⑲	B	○学校運営協議会を通して、学習活動の場を校外に広げることができた。 ◇コミュニティスクールの確立と活動の深化
コンプライアンス確保	不祥事なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>風通しの良い職場環境の確立、服務規律の確保</li> <li>コンプライアンス推進計画の執行、「学校必携」の活用</li> <li>教職員からの意見聴取の機会確保、プチ面談等の実施</li> </ul>	3－⑨ 5－⑰ 5－⑱	A	○不祥事0 ●交通事故(被害)が一定数生じている。 ◇コンプラ研修の脱マンネリ化
働き方改革	時間外勤務時間 月 45 時間以内 年 360 時間以内	<ul style="list-style-type: none"> <li>校務分掌に係る業務のシンプル化 → 授業づくりの時間を確保</li> <li>業務の整理、見直し、効率化 → 業務削減</li> <li>退勤時間を意識した業務進行管理意識の促進</li> </ul>	5－⑳	C	○長期休業中のテレワーク導入 ●真の働き方改革の目的の認識不足と誤認識 ◇働き方改革から働きがい改革へ
I C T活用	校務支援システムの更新を見据えた校内 I C T環境の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>目指すべき校内 L A N環境の検討</li> <li>Teams から Google への移行</li> <li>ノート PC とタブレット PC の管理と効率的な更新方法の確立</li> <li>電子黒板の追加導入方法の検討</li> </ul>	1－② 5－⑳	B	○PC 及びサーバーの更新 生成AIの活用推進 ●ICT機器類の更新 ◇デジタルとアナログの効果的な融合

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない